

観望機器、改造集

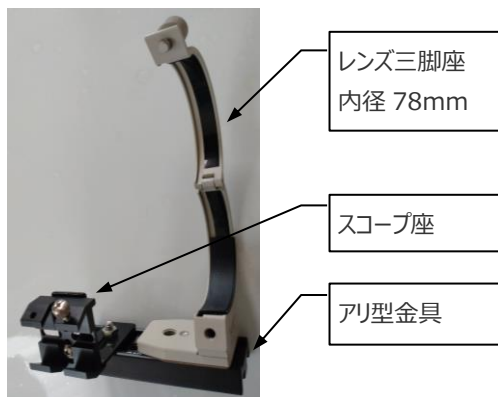
2023-12-16

京都市 福原浩一

ズームレンズ、望遠鏡化

最近はやりの電子観望では、小型短焦点の望遠鏡を組み合わせて使うことが多い。そこで手元のズームレンズを、電子観望用に改造して、70～300mm の望遠鏡に仕立てた。今後、星野や星系の撮影と電子観望に使って行きたい。

工作方法：L型金具にスコープ座をネジ止めし、アリ型金具にレンズ三脚座・L型金具を取り付ける



(レンズ装着後)

Star Adventurer GTi (SA-GTi)の三脚を Vixen APP-TL130 に変更

軽量赤道儀 SA-GTi の標準三脚が 2 段式で全長が長いので、所有している APP-TL130 が使えるように接続しようと考えた。ところが、エクステンションピラーは 3/8 インチのメスカメラネジで、一方 APP-TL130 のネジはオス M10、このままではネジ込めないと判明。そこで、M10 を 3/8 インチに変換するコネクタを検索したところ、Amazon でマイクスタンドアダプター (M10 メス-3/8 オス) を見つけ、購入して取り付けただけで、接続できるようになった。



⇒



一眼カメラの HKIR 改造

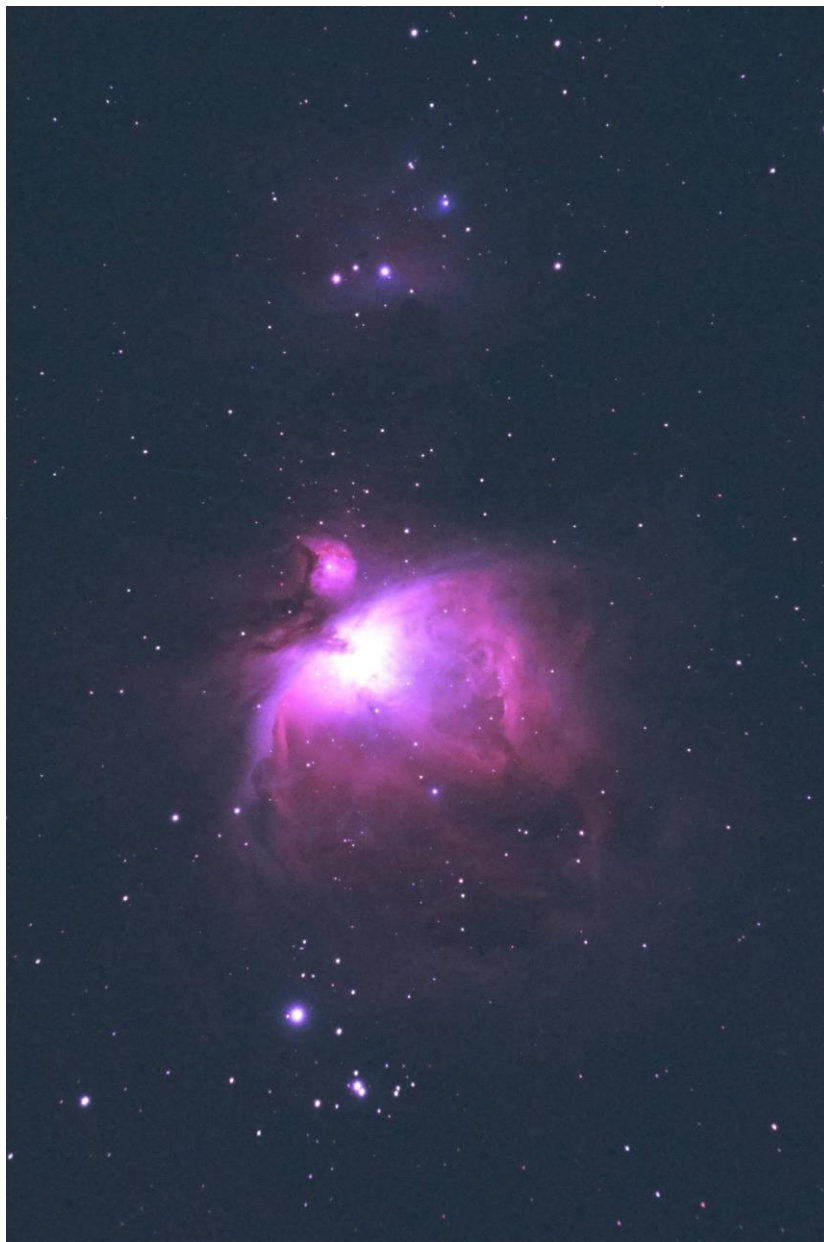
現在所有しているソニー a6400 (APS-C) は、赤く淡い天体について感度が鈍く、赤色の映りが悪い。これは、赤外に近い光を抑えるフィルターが内蔵されているためで、今回、それを取り除いて新しい赤色透過型のフィルターに交換する、いわゆる HKIR 改造を実施した。依頼先は、[ハヤタ・カメララボ](#) で、10 月初旬に送付し、11 月下旬に完了した。

今回、直前によやく夜空が晴れて、撮影ができたので、ファーストライトの写真を載せる。

使った機材は、前項で紹介した Star Adventurer GTi 赤道儀、鏡筒は BLANCA-90SDT(焦点距離 540mm)です。

RAW 現像時、光害の影響で青色が強く出ていたので、トーンカーブ補正で青色全体を抑えて調整した後、星雲をクローズアップするためにトリミングして jpeg 出力した作品。1 ショットとしてはきれいに色が現れた。特に改造のおかげで、淡い赤色が表現できたので、改造の成果が確認できた。

今後、近場で光害が少ない撮影地を探し(これが難しいですが)、めぼしい星雲・星団などを撮影して行きたい。それと、より高精細な作品を目指して、露光枚数/時間を調整し、複数枚の合成編集を試したい。



(M42,α6400HKIR 改,12/13 21:40,大津市大石,540mm,ISO6400,30 秒, DBP フィルター)

通常の写真⇒
(WB:
シヨップカスタム)

